

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 54》2017年8月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【姫島村 / 日出町】



(姫島村)  
姫島盆踊り



(姫島村)  
車えび



(日出町)  
日出城址からの眺望



(日出町)  
城下かれい

## 「ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで」 OPAMにて絶賛開催中!

7月7日から、大分県立美術館にて「ジブリの大博覧会」が好評開催中です。スタジオジブリが設立から30年間積み重ね、生み出してきた約3,000点近くの貴重な資料たちが展示されています。

これまでのジブリ作品がどのように生み出され、世に出て行ったのか。当時を振り返るポスターやチラシといった広告宣伝物を中心に、制作資料、企画書など未公開資料を含む圧倒的多数の資料が所狭しと展示空間を圧倒します。子供から大人まで、ジブリファン必見の展覧会となっています。



スタジオジブリの名物プロデューサー鈴木敏夫氏の仕事部屋を再現したコーナー



映画の宣伝材料・グッズなど、貴重な資料が数え切れないほど!



©1984 Studio Ghibli・H

【会期】

平成29年7月7日(金)  
～9月3日(日)

【開館時間】

午前10時～午後7時  
(入館は閉館の30分前まで)  
※金曜日・土曜日は午後8時まで

【会場】

大分県立美術館 展示室A



「ナウシカ」から「マーニー」まで、歴代のポスターや貴重な原画の数々



「天空の城ラピュタ」に登場する「巨大な船」をイメージした動く模型



※写真はすべて大分会場 © Studio Ghibli

詳細はOPAMのHPをご覧ください

<http://www.opam.jp/exhibitions/detail/228>

## 犬飼町わかあゆ国際交流会副知事表敬

7月25日に、犬飼町わかあゆ国際交流会と、同会がホームステイを受け入れている香港中文大学の学生の皆さんが県庁を訪れ、二日市副知事に表敬訪問を行いました。犬飼町わかあゆ国際交流会は、香港のドラゴンボートチームが犬飼町を訪問したことをきっかけに結成され、1997年から香港中文大学からのべ185名の学生を受け入れてきており、今回で20回目の節目の受入となりました。

訪問では、犬飼町わかあゆ国際交流会の田嶋会長からプログラムの説明があり、学生団長の丘振標(ヤウチュンピウ)さんから代表あいさつ、そして参加メンバーの自己紹介をしていただきました。参加メンバーからは、「大分は自然が豊かでとてもいい」、「大分、犬飼の人たちはとても温かくて優しい」、「香港よりも暑い」など、さまざまな感想が寄せられました。副知事からは、「ようこそ大分へいらっしゃいました。このような長い間、草の根交流を続けていただいたことに深く感謝申し上げます。ぜひとも大分の自然や食べ物を満喫してもらって、将来大分と香港の架け橋になってもらうとともに、香港での大分のPRをお願いしたい」と歓迎のあいさつがありました。

一行は7月19日に大分入りしており、犬飼町でホームステイをしながら地元大学生・高校生との学生交流や日田祇園への参加や神楽、茶道、華道等を体験し、8月1日に大分を離れます。



丘学生団長あいさつ



副知事歓迎あいさつ



記念撮影

## 第2回「大分県スタディツアー」竹田市久住の魅力を満喫

7月15日に、大分県私費外国人留学生奨学金を受給する留学生19名が、「第2回大分県スタディツアー」に参加し、竹田市久住の魅力を満喫しました。

今回はバスツアーということで、大分駅・別府駅を出発後、久住の各所を巡りました。まず訪れたのが、「福祉農場 コロニー久住」です。農場を見学し、ソーセージ作りやピザ作り体験をしました。昼食はバーベキューを楽しみました。

次に立ち寄ったのは、くじゅう花公園です。綺麗な景色を眺めながら、ラベンダーソフトクリームを食べたり写真を撮ったりして楽しみました。

最後に久住ワイナリーにも訪れ、ワインやぶどうジュースの試飲をしました。

梅雨にもかかわらず良い天気にも恵まれ、留学生は「久住の大自然や食べ物などの魅力を満喫でき、とても癒やされた」と、大喜びのツアーとなりました。留学生の皆さんには、自分のSNSのページで今回のスタディツアーの感想等を紹介するという課題が与えられています。Instagram等で「#留学生スタディツアー」で検索すると、彼らの感想がチェックできます。投稿を見かけた際には、ぜひ「いいね!」をお願いします!



## 大分への企業進出が好調☆過去最高の企業誘致件数36件

ものづくりが盛んな大分県には、新日鐵住金、大分キヤノン、ダイハツ九州をはじめ、最先端の技術を持つグローバル企業が多く立地しています。また、鉄鋼、石油、化学、半導体、電気、自動車、精密機器など幅広い分野の企業がバランス良く立地しているのも大分県の特徴の一つです。これらの産業集積がさらなる集積を呼ぶ効果を生んでおり、大分県の製造品出荷額等は、九州では福岡に次ぎ2位、ここ数年間(\*)の伸び率は全国1位です。

(\*)2004～2014の統計による

2016年度、大分県の企業誘致件数は36件と統計を取り始めた1979年以降、過去最高となりました。ここ数年は、自動車関連企業や食品企業の進出が目立つほか、女性の雇用率が高いコールセンターや、県内に多い留学生等の国際人材の活用に着目した新ビジネスを展開する企業が進出しています。

また、2016年4月に、東九州自動車道が全線開通をしたことも、企業活動に好影響を与えており事業拡大の後押しとなっているようです。

企業立地推進課では、多様な雇用を創出するための誘致活動に力を入れ、進出企業が大分の地で活躍、発展して頂けるよう支援に取り組んでいます。

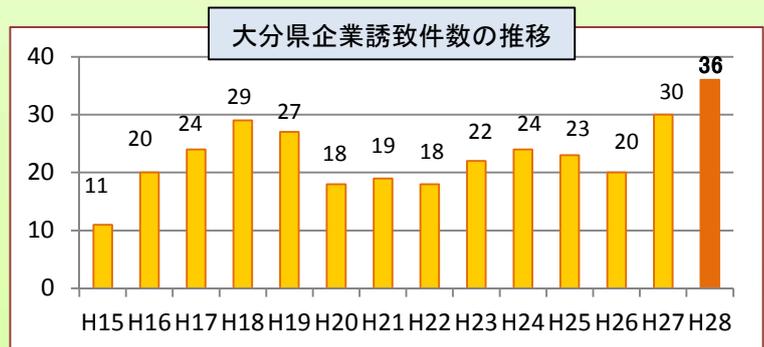
県人会、留学生OB、そして世界で活躍する大分県関係者の皆様には、日本への進出や大分県での事業展開に興味を持たれている企業等の情報がありましたら、是非、我々にご連絡いただけますようご協力をお願いします。

【企業立地推進課】

お問い合わせ  
大分県企業立地ガイド <http://www.ritti-oita.jp/>  
企業立地推進課 Email a14050@pref.oita.lg.jp



2016年10月に立地表明したHuber.は、訪日外国人旅行者と地元ガイドのマッチング事業を展開  
TOMODACHI GUIDE <https://huber-japan.com/>



## 海外大分県人会交流掲示板



ロサンゼルス県人会の會田裕二会長より、7つの県人会が合同で参加したイベントの情報提供をいただきました！

6月18日に、昨年より1県増えて7県での合同Picnicが、Torrance市のWilson Parkで開催されました。

参加県人会は、石川、茨城、岐阜、佐賀、東京、徳島と大分です。参加者数120名がバーベキュー、ジュースチャージゲーム、スイカ割り、賞金を懸けての全員でのじゃんけんゲームなどで楽しみました。





## 新たに2名がめじろん海外特派員に任命されました

外国語指導助手(ALT)のメアリー・スーランさんと国際交流員(CIR)のミリアム・スターリングさんが「めじろん海外特派員」に任命されました。帰国してからも、引き続きよろしくお願いします！



Mary Soulon(米国)

大分で最も印象に残っているのは、人の親切さ、美しい自然、そして特有の文化です。めじろん海外特派員として、母国の人たちに大分での経験を共有するのを楽しみにしています。アメリカ人には、日本といえば東京や大阪のような都会を思い浮かべる人が多いと思います。でも私は、温かくて魅力的で住みやすい、本当の日本を体感することができるのは大分だと思います！大分のために頑張ります！



Miriam Starling(英国)

大分にいたこの3年間は一生忘れません。素晴らしい経験をさせていただき、素晴らしい人にもたくさん会えました。いつも大分県の皆様方に支援していただきました。感謝しております。大分県が私の第2のふるさとになってきたように思います。母国に帰ったら、大分とイギリスの架け橋になりたいと思っています。私が日本の中で一番大切に思っているのは大分なので、日本に関係ある仕事をしたいと思っていますが、できれば、仕事においても、日常生活においても、日本だけではなく、大分のPRを推進するつもりです。これからもよろしくお願いします。



## 湖北省から研修員の戴立君(ダイ・リッケン)さんが来県

戴さんは、7月から11月まで大分に滞在し、国際政策課、ツーリズムおおいた等で研修を行う予定です。よろしくお願いします！

はじめまして！私は中国湖北省から参りました研修員の戴立君と申します。私は湖北省の北西部にある十堰市の出身で、故郷は山に恵まれ、道教の名山「武当山」で有名です。今の勤め先は湖北省の省都武漢市に隣接している孝感市です。孝感市は中国で唯一の「孝」の字が付いている都市で、米酒と麻(マー)糖(タン)(ごま飴)でよく知られています。今回は湖北省の研修員として大分県に配属され、うれしく光栄に思います。短い研修期間ですが、日本一のおんせん県大分の観光システムを見学し、中国の観光事業の発展に貢献したいと思います。





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（7月）



## 【7月5日（水）】九州北部豪雨による災害が発生

大分県を含む九州北部では、7月5日午後から記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎました。2013年8月から運用が始まった特別警報が県内で始めて発表されました。県内では、特に日田市で甚大な被害が出ており、死者が3名、負傷者は4名、建物被害は1,588棟に及んでいます。また、花月川の氾濫によりJR久大線の鉄橋が流出し、運行不能となっています（バスによる代行輸送を実施）。鉄橋の復旧には当初3年程度を見込んでいましたが、JR九州によると、国から雨の多い時期での作業や安全対策に関する理解が得られたことから、2018年夏をめどに全面復旧できる見通しだということです。

7月24日現在、県内外から延べ5,296名のボランティアが復旧活動に参加されています。また、世界中の皆様からお見舞いや励ましの言葉をいただきました。深く御礼申し上げます。復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 【7月20日（木）】 県内 梅雨明け

大分地方気象台は20日、大分県を含む九州北部地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。県内は6月6日に梅雨入りし、2週間ほど少雨が続ききました。平年より1日、昨年より2日遅い梅雨明けとなりました。7月5日に発生した豪雨で西部を中心に記録的な大雨が降りましたが、ほとんどの観測地点では平年の降水量を下回りました。



## 【7月29日（土）～31日（月）】 湯～園地 ついに実現！

温泉と遊園地を組み合わせた別府市のイベント「湯～園地」が7月29日に別府ラクテンチにて開園し、31日の閉会までに約9千人が来園しました。別府市は、主にインターネットで出資を募るクラウドファンディングで運営資金を調達し、8200万円近くを集めました。「温泉バブルジェットコースター」や「温泉メリーゴーランド」等、計12のアトラクションが用意され、うだるような暑さの中、1千人近いボランティアにも支えられ、大盛況となりました。

今回、斬新なイベントで話題をさらった別府市ですが、今後の取り組みにも大いに期待したいところです。



# From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

今月留学生と一緒に「大分県スタディツアー」に参加し、福祉農場 コロニー久住でソーセージ作りを体験しました。しかし、アメリカでは「ソーセージの作り方を知らないほうがいい」のような言い習わしがあります。その理由は、一つのソーセージはいろいろな動物の肉によって作られるため、防腐剤や添加物がたくさん入っていることです。しかし、コロニー久住のソーセージは100%豚肉で添加物などが入っていません。ソーセージ作り体験はとてもしっかりとしたソーセージを食べたらほんとうにおいしかったです。ソーセージ作り体験だけではなく農産物が各地にある農場も見学できてとても楽しい一日でした。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.jp](mailto:pu101502@pref.oita.jp)

先日ジブリ大博覧会の内覧会に行って来ました。大分県立美術館(OPAM)では7月7日から9月3日まで「ジブリ大博覧会～ナウシカからマーニーまで」が開催されます。小学生の頃、「千と千尋の神隠し」を見て日本語に興味を持ち始めたので、OPAMで「ジブリ大博覧会」が開かれることを聞いてからとても楽しみにしていました。入口の前にある巨大な飛行船はクオリティも高く、上下に動いていて見ているとテンションが上がります。早速中に入るとかわいいイトロが出迎えてくれて、ジブリ作品のポスターやグッズなどが所狭しと並べられていました。「隣のイトロ」に出てくるネコバスにも乗って見たら、フワフワで乗り心地も良く、まるでジブリの世界に入り込んだような気分でした。皆さんもぜひ行ってみてください。



張 鵬  
(Zhang Peng)  
県国際交流員  
中国  
[Pu1014006@pref.oita.jp](mailto:Pu1014006@pref.oita.jp)

7月21日に駐福岡中華人民共和国総領事館で2017年度九州地方CIR座談会に参加しました。九州地方の7名の国際交流員たちが4月からの仕事内容および各県の概要を何振長総領事らに報告しました。その中で、私は大分県の簡単な紹介をしてから、これまでの国際交流員としての翻訳・通訳の仕事と学校訪問などの感想を発表しました。

何総領事は領事館で行われる中日国際交流事業および中日国交正常化45周年の九州地方の領事活動を国際交流員たちに紹介し、国際交流員の仕事にコメントし、励ましの意を伝えてくださいました。九州地方国際交流員座談会は昨年11月から毎年定例的に行われることとなり、地方レベルの中日友好交流を促進するための国際交流員の経験交流の場となっています。



## ～編集後記～

7月はじめの九州北部豪雨では、大分県は日田市を中心に被害がありました。たくさんのお見舞いやメッセージをいただきありがとうございました。復興に向けて、元気に頑張っている地域の様子なども紹介していけたらと考えています。今月の特集は大分県立美術館OPAMのジブリ展です。海外からもたくさんのお客様に来ていただいています。9月3日までなので、大分にお越しの際は是非お寄りください。

(国際政策課長 徳野 満)

## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!

(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>